

各自が感じていることを
話しあってみましょう

委員会の進め方 ワークショップの内容について

委員会の実施スケジュール及び内容

委員会プログラム		内 容
協働の必要性、 現状・課題共有	【第1回】 委員会の概要説明等、協働に関する認識の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働推進委員会のスケジュール及び内容について説明。 ・中川先生から「(仮題)今、なぜ協働なのか」について基調講演。 ・「協働」についての意見交換。
	【第2回】WS 協働に関する認識の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートまとめや前回委員会での意見を紹介するとともに、他市の事例をもとにさまざまな協働の形態を紹介。 ・手法に関するレクチャーを実施後、ワークショップの実施。 ・ワークショップにより各自の「協働」に関する認識について共有を図る。
	【第3回】WS 協働に関する現状と課題の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・現状把握資料、庁内・団体ヒアリング結果に基づき、「行政との協働」の課題、「団体・住民同士の協働」の課題について、ワークショップによる検討。
将来像、役割、 方策等共有	【第4回】WS 協働が根付いた地域の将来像、行政、市民の役割等について検討	<ul style="list-style-type: none"> ・協働の理念、基本原則について共有するとともに、「協働が根付いた地域の将来像」についてワークショップを実施。その後、行政、市民、まちづくり協議会、自治会等の取り組みを検討。
	【第5回】WS 「協働の方策」について検討	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政の協働方策、団体・住民同士の協働方策について検討。 ・ワークショップにおける検討は、以下の4グループ(案)に分けて実施。 「情報提供、共有」「ネットワーク、住民同士の連携」「協働のための人材育成」「協働のための組織・拠点づくり」
	【第6回】 中間報告とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・計画素案、職員向けマニュアルの中間報告。 これまでのワークショップ意見の反映を確認し、協働方策を共有
協働のルール等共有	【第7回】WS 条例骨子案の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・当社講師及び学識経験者による条例に関するレクチャーにより、条例による協働のルール化について共有。 ・条例骨子案、体系案をもとにワークショップにて検討。
	【第8回】 条例体系、素案の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・条例体系の検討、条例素案の検討。解説等に基づきながら、条例に関する理解を促す。
	【第9～11回】 条例素案の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・推進方策検討、条例素案の検討。
	【第12回】 条例案のとりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・条例案のとりまとめ、市長へ報告。

第1回ワークショップ内容（ワークショップの進め方）について

WSにおける話し合いは、KJ法※を用いたワークショップで実施していきます。

話し合いのポイント

出た意見に批判や反対をしないこと！
 思いついたらどんどん書く、正解はありません。
 メンバーの話をしっかり聞きましょう。
 出た意見への便乗もOKです！

*話し合いの中で出されたアイデアや意見や情報を1枚ずつ小さなカード(ふせん紙)に書き込み、それらのカードのなかから近い感じのするもの同士を集めてグループ化していき、それらを小グループから中グループ、大グループへと組み立てて図解していく。こうした作業のなかから、テーマの解決に役立つヒントやひらめきを生み出していこうとする技法の1つ。

WSの全体スケジュール・手法説明(5分)・自己紹介(10分)

- ・WSスケジュールや概要について説明します。チーム内にファシリテーターが入り、各テーブルごとに進行します。また、手法説明後、グループ内で自己紹介を行っていただきます。

テーマに沿って各自の意見を付箋紙に書く(5分)

- ・協働に関する認識について付箋紙にご記入いただけます。
 【協働に関する認識として(協働って何だろう、こういうのも協働じゃないかという意見など)幅広く付箋紙にお書きください。市民と行政、市民と市民などさまざまな立場の人と活動した事例・経験や振り返りシートでの内容をお話しいただいても結構です。】

協働に関する認識について、フセンにひとつずつ書きだしていく。

協働に関する認識として(案)

ボランティア活動に参加したが、主体的な参加ができなかった。積極的な活動への参加意識が重要だと思う。

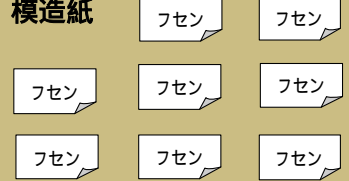
協働に関する認識として(案)

協働とは、行政の手が届かないところに地域が手助けするなど双方の協力のできるものだと思う。

順にカードを貼りながら意見を発表する(25分)



模造紙

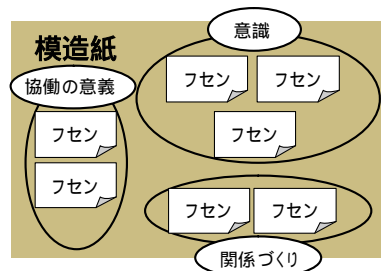


話し合いながら意見をまとめていく(25分)



フセンに書かれた内容を確認しながら、関連する内容をグループ化し、まとめる。また、出された意見に対しては、その背景や原因を考え、課題・大切なことを抽出する。

模造紙



意見がまとまったら発表する(10分)